

# 論文を投稿する際は 粗悪学術誌 ハゲタカジャーナルに ご注意ください!

昨今、著者から論文投稿料  
(Article Processing Charge, APC)  
を搾取し、適切な査読や編集が  
行われないうまま論文出版を行う、  
オープンアクセス(インターネット  
上で無償公開)形式の粗悪学術  
誌(ハゲタカジャーナル)が、増加  
しています。

投稿先の雑誌が信頼できるかお悩みの際は  
図書館にご相談ください

## ハゲタカジャーナルの特徴

- ・ 投稿規定に査読に関する記載がない
- ・ 編集者や編集委員会に関する記載がない
- ・ 雑誌名が、よく知られている雑誌に非常に似ている
- ・ 文献データベースを検索した際、掲載された記事を確認することが困難
- ・ 取り組んでいる研究や分野に関係無い内容の論文投稿勧誘メールが届く
- ・ 編集者や編集室に送ったメールや電話連絡が、数日以内に返信されない
- ・ 査読と出版までの確約された所要時間が異様に速い
- ・ 論文の撤回指針がない
- ・ 連絡先のメールアドレスがgmailなどのフリーメール等

### 参考文献

Shamseer L., Moher D., Maduekwe O., Turner L., Barbour V., Burch R., Clark J., Galipeau J., Roberts J., Shea B. J. Potential predatory and legitimate biomedical journals: can you tell the difference? A cross-sectional comparison. BMC medicine. 2017, vol. 15, no. 1, p. 9. doi:10.1186/s12916-017-0785-9.  
Laine, C.; Winker, M.A. Identifying predatory or pseudo-journals. Biochimica medica. 2017, vol. 27, no. 2, p. 285-291. doi:10.11613/BM.2017.031

## ハゲタカジャーナルの問題点

- ・ 研究者・大学の社会的評価の低下
- ・ 研究成果の妥当性が疑問視
- ・ 公開された論文がウェブ上から消滅する可能性
- ・ 撤回し、他の雑誌への再投稿が困難
- ・ 研究助成の浪費
- ・ 論文の可視性・引用率の低下
- ・ APC支払いに関し紛争の可能性

⇒ハゲタカジャーナルに投稿することで、**あなたの学歴・職歴・所属先にキズがつく**恐れがあります

### 参考文献

北海道大学北キャンパス図書室. “午後の講座：オープンアクセスとハゲタカジャーナル”.  
<http://hdl.handle.net/2115/71762> (参照 2019-03-07)  
Ferris, L.E.; Winker, M.A. Ethical issues in publishing in predatory journals. Biochimica Medica. 2017, vol. 27, no. 2, p. 279-284. doi:10.11613/BM.2017.030

## ハゲタカジャーナルを見極めるために役立つサイト

- ・ 出版倫理委員会(COPE) <https://publicationethics.org/>
  - ・ オープンアクセス学術出版者協会(OASPA) <https://oaspa.org/>
  - ・ Directory of Open Access Journals <https://doaj.org/>
  - ・ Web Of Science <http://webofknowledge.com/>
- ※**Web Of Science**は、**図書館ホームページからご利用いただけます。**
- ・ Think Check Submit <https://thinkchecksubmit.org/>  
(日本語ページ有)

Q. PubMedに掲載されている論文は安心？

A. PubMedでもハゲタカジャーナルに掲載された論文がヒットすることがあります。

PubMedには、政府機関や助成機関から研究助成を受けた論文の情報・著者最終稿へのリンクが掲載されています。

アメリカでは、研究助成を受けた論文のオープンアクセス義務化が進展しており、ハゲタカジャーナルに掲載された場合でも、PubMedでヒットします。

ハゲタカジャーナルは、論文1本の情報だけでも、さもPubMedに雑誌自体が掲載されているかのように、誇張して宣伝していることもありますので、注意が必要です。

参考文献 Langdorf N., Murphy L. Midday at the Oasis : How Librarian and Information Professionals can make a difference in combatting Predatory Publishers. <https://nmlm.gov/sites/default/files/psr/files/NNLM-Midday-Oasis-Predatory-Publishers.pdf>(参照2019-03-07)

Q. インパクトファクターの数値が付いている雑誌は安心？

A. インパクトファクターを騙る様々な指標があるため、注意が必要です。

インパクトファクターは、一般的にクラリベイト・アナリティクス社(旧トムソン・ロイター)が、提供している「Journal Citation Reports」に掲載された学術雑誌の指標を指します。

しかし、インパクトファクターを騙り、もしくは紛らわしい名称を用いて、ハゲタカジャーナルを数値化した指標が存在します。

学術雑誌の、正確なインパクトファクターの数値を調べる際は、“Journal Citation Reports”をご利用ください。

**※図書館ホームページからご利用いただけます。**

参考文献 “インパクトファクターについて”.クラリベイト・アナリティクス. <https://clarivate.jp/products/journal-citation-reports/impact-factor/>(参照 2019-03-07)  
“ニセモノの「インパクトファクター」にご注意 / 怪しい業者の手口と見分け方”.ワイリー・サイエンスカフェ. <http://www.wiley.co.jp/blog/pse/?p=31921>  
(参照 2019-03-07)

## Q. 論文投稿料(APC)が高いのが、ハゲタカジャーナルでは？

### A. APCが高い=ハゲタカジャーナルでは必ずしもありません。

本学における平成27年～29年の学位取得者が投稿した、インパクトファクターの数値を持つオープンアクセス雑誌のAPC(一部)

雑誌名	発行元	インパクトファクター (JCR 2017年版)	APC (2019年3月時点) (学会員向け割引価格除く)
Cancer Medicine	Wiley	3.202	\$2,750
World Journal of Gastroenterology	Baishideng	3.300	\$2,660
Respiratory Research	BioMed Central	3.751	\$2,570
Scientific Reports	Springer Nature	4.122	\$1,790
PLoS One	PLoS	2.766	\$1,595
Journal of Pharmacological Sciences	Elsevier (日本薬理学会)	2.575	\$1,000
Internal Medicine	日本内科学会	0.817	\$300
Tohoku Journal of Experimental Medicine	東北ジャーナル 刊行会	1.423	¥40,000
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	日本冠動脈外科学会	0.940	¥40,000

雑誌が取り上げる医学分野や、雑誌の刊行形態、学会員向けの割引などにより、APCの価格・相場は異なります。

投稿規定や、ホームページに、APCの記載がないオープンアクセス雑誌は、投稿前に注意が必要です。